

図書館だより

宮城県仙台三桜高等学校
司書版 No.1
2018.5.29



もうすぐ衣替えの季節です。さわやかな季節から、徐々に暑くなってきました。体調に気をつけて生活していきましょう。

今年度はじめての図書館だよりなので、図書館の開館時間、館外貸し出しなどの決まりごとを掲載します。

〈図書館の利用について〉

【開館時間】

月～金 7:30～19:00

※司書がいるのは8:40～17:00です。

土日祝日 休館(2018.04.01現在)

学校行事、蔵書点検などで臨時休館になる場合は
図書館入り口の掲示でお知らせします。

【館外貸出】

一人 3冊まで 期間は7日間

長期休業期間の貸出については、別に定めず。

※司書がない時

貸出:カウンター上の用紙に記入して借りてください。

返却:図書館前の返却ポストを利用してください。

【その他】

- 1 図書館内は静かにしましょう。
- 2 飲食は館外でお願いします。
- 3 本は所定の手続きをとって、借りましょう。
- 4 返却日は守りましょう。
- 5 貸し出し中の本を予約することができます。
- 6 図書館にない本はリクエストできます。
(リクエスト用紙は裏ページにあります。)

〈リクエスト募集中〉

三桜図書館では随時、みなさんからのリクエストを募集しています。入れて欲しい本がありましたら、司書に教えてください。

また、図書委員による選書「書店めぐり(6月19日午後)」を予定しています。詳しくはウラをご覧ください。

新しい本

読書感想文の課題図書3冊

『わたしがいどんだ戦い1939年』

『車捨てられいす犬ラッキー：捨てられた命と生きる』

『いのちは贈りもの：ホロコーストを生きのびて』

→紹介はウラにあります。

大学学部調べ(なるにはBOOKS)

～オープンキャンパスに行く前に～

1年生から3年生まで使えます。

社会のニーズの多様化から、名前だけではわかりにくい学部・学科が増えています。

前半は、学部・学科の紹介、後半は、在学生のキャンパスライフ、卒業生の進路を紹介。

『文学部』

『看護学部・

保健医療学部』

『社会学部・

観光学部』

『理学部・

理工学部』

『工学部』『法学部』も、もうすぐ入荷する予定です。



「読書感想文コンクール課題図書」の紹介



書店めぐり

図書委員会では年に2回(6月, 9月), 「書店めぐり」をしています。

この行事は、みなさんからの希望をもとに、図書委員が直接書店に行って選書を行うものです。

今年度の第1回目は

6月19日(火)午後



を予定しています。

購入時の参考にさせていただきたいので、リクエストがあれば下記に記入し、直接司書に渡すか、クラスの図書委員に渡してください。

先生方からのリクエストもお待ちしています。

切り取り線

書名	
著者名	
出版社	
購入したい理由	
年組番名前	

わたしがいどんだ戦い1939年

キンバリー・ブルベイカー・ブラッドリー(作) 評論社

「お母さんは、私のことが嫌い。だって、足が悪いから。」
実の母に暴力を振るわれ、自宅に閉じ込められて育ったエイダ。学校にも通わせてもらえない。

ドイツとの戦争が激しくなり、子どもたちはロンドンから疎開することに。エイダは、彼らに紛れて母親から逃げ出す。虐待から逃れた少女が、自分を取り戻していく成長ストーリー。



車いす犬ラッキー: 捨てられた命と生きる

小林照幸(著) 毎日新聞社

自分のペットが障がいを負っても、世話をしていけるだろうか? 世の中には、「もともと捨て犬だったから、安楽死させてしまおう」と考える人が多いらしい。

交通事故にあった犬ラッキーを「助けよう」と奮闘する家族の様子を描く。



いのちは贈りもの: ホロコーストを生きのびて

フランシーヌ・クリストフ(著) 岩崎書店

フランシーヌが母と収容所送りになったのは9歳の時。ラッキーだったのは、父がドイツ軍の捕虜になっていたこと。

戦時国際法ジュネーヴ条約で、戦争捕虜の家族は「人質」としてフランス国内に留め置かれたため、なんとか生きのびることができたのだ。強制労働をさせられなかったとはいえ、過酷な3年間だった。

子どもの目から見た収容所生活をリアルに表現した作品。

